

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
生活科学概論	学科専任教員	講義	2		2	1	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>生活（life）とは「いのち」をつないでいく営みとしての「暮らし」に他ならない。生活科学は「いのち」と「暮らし」にかかわる諸科学の知見を統合することによって生活の守護と質的向上を目指す実践的かつ総合的な学問である。</p> <p>本講義の目的は、自ら賢明な生活者たることを目指すとともに、生活の具体的な場としての地域の快適化と活性化に貢献できるような人材たるべく、「いのち」と「暮らし」にかかわる各分野を総合的に学んでいくことにある。</p>						
到達目標	<p>自らを含む人間の生活を科学的・総合的に理解し、賢明な生活者として思考・行動し、また他者の支援ができるようになるための基本的素養を身に着けること。</p>						
回	学習内容						
1	オリエンテーションと図書館・情報処理演習室の利用説明（学科長）						
2	「生活の科学」とは何か？						
3	暮らしの中の心理学						
4	キャリア形成の心理学						
5	社会福祉を考える－「社会」から考えるの巻－（グループワーク）						
6	社会福祉を考える－「福祉」から考えるの巻－（グループワーク）						
7	コロナ禍で注目される地域の医療や福祉について考えてみよう						
8	コロナと価値のものさし～社会をみつめる視点～						
9	障害とは何か～私たちの生活と障害への眼差し						
10	障害のある人の生活とは～具体的事例から学ぶ						
11	居心地の良い生活空間						
12	都市の住まい						
13	住民参加とコミュニティ						
14	都市計画とまちづくり						
15	生活における情報科学技術について						
予習内容 復習内容	予習に関しては、次回テーマについて告知を受け、事前調べを行う。復習に関しては、毎回の課題に取り組むことで、当日の講義内容の振り返りと総括を行う。						
教科書	特に指定せず、講義中に適宜指示する。						
成績評価	毎回の講義で提示される課題…100%						
実務経験	社会福祉法人や障害者支援施設、建築設計事務所、都市計画事務所などに勤務経験がある教員数名。実務経験をもとに地域問題解決の具体的な事例や方法などについて話をします。						
その他 特記事項	6回以上欠席した者は、成績評価の対象から外れることになる。						